

# 令和5年度海老名市一般会計決算の概要

## コロナに打ち克つ、輝く未来へ飛躍するえびな

### 決算の状況

( ) 内は対前年度比

- ◆一般会計歳入決算額 589億5,553万4,375円  
(38億7,125万4,196円、7.0%の増)
- ◆一般会計歳出決算額 565億2,343万1,030円  
(41億8,178万3,571円、8.0%の増)

### 歳入(一般会計)

( ) 内は対前年度比

- 市税 256億8,000万円 (10億3,300万円、4.2%増)
  - ・個人市民税 99億3,400万円 (3億6,300万円、3.8%増)
  - ・法人市民税 13億7,200万円 (1,400万円、1.0%増)
  - ・固定資産税 115億9,500万円 (5億5,000万円、5.0%増)
- 国・県支出金 155億7,400万円 (12億6,200万円、8.8%増)
- 繰入金 23億3,600万円 (2億7,900万円、10.7%減)
- 市債 30億4,200万円 (3億4,400万円、12.8%増)

### 歳出(一般会計)

( ) 内は対前年度比

- 義務的経費 257億6,000万円 (14億2,100万円、5.8%増)
  - ・人件費 80億9,900万円 (1億8,400万円、2.3%増)
  - ・扶助費 147億6,000万円 (11億4,300万円、8.4%増)
  - ・公債費 29億 200万円 (9,500万円、3.4%増)

義務的経費のすべての内訳が増加しました。扶助費は、子育て支援施設型給付事業費や障がい者自立支援給付費等事業費が引き続き伸びていることなどにより増加しました。

義務的経費は今後も増加が見込まれるため、財政構造の弾力性確保の点から引き続き注視が必要です。

- 普通建設事業費 55億5,500万円 (5億4,500万円、10.9%増)  
普通建設事業費は、中新田丸田地区土地区画整理事業が進捗したことや食の創造館別館が完成したことなどにより増額となりました。

# 令和5年度の主な取組

令和5年度は「コロナに打ち克つ、輝く未来へ飛躍するえびな」をテーマに、子育て世帯を中心とした人口増による税収の底上げを図り好循環を生み出す、戦略的かつ積極的なまちづくりに取り組みました。

## 充実して暮らせるまち



### ■ 駐車場の舗装整備工事の実施 1億1,400万円

文化会館、図書館、総合福祉会館の利用者駐車場の未舗装部分について、舗装整備を行い、駐車場利用者環境を改善しました。



駐車場舗装完成写真

### ■ 国際化事業の充実 190万円

市内在住の外国籍住民が安全・安心に生活できるまちを目指し、国際窓口の設置や外国籍住民を対象としたアンケート調査を実施しました。

## 健やかに暮らせるまち



### ■ 子ども医療費助成の対象年齢の拡大 4,800万円

中学校修了までとしていた保険診療分の医療費全額無償の対象年齢について、「満18歳に達する日以降の最初の3月31日まで」に拡大しました。拡大に伴い新たに3,263人が医療費助成の対象となりました。



### ■ 帯状疱疹ワクチン、特定不妊治療（先進医療）の費用助成 4,500万円

発症予防と健康増進のため、帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成しました。また、少子化対策の充実として、医療保険が適用されない特定不妊治療（先進医療）の費用を助成しました。



## にぎわいがあり自然に優しいまち



### ■ プレミアム付商品券の発行 24億7,100万円

市民生活に影響を与えている物価高騰に対応するため、市民を対象として生活支援及び消費喚起による地域経済の活性化を目的に、市内でのみ使用可能なプレミアム付商品券を発行しました。

プレミアム付商品券イメージ



### ■ ゼロカーボンシティの推進（SDGs重点事業） 860万円

現時点の二酸化炭素排出量と2050年時点の排出量を推計をすることにより、ゼロカーボンシティ推進のために実施すべき取り組みの検討を行いました。



## 便利で快適に暮らせるまち



### ■ 市役所周辺地区の一体的なまちづくりの推進 700万円

開発行為の促進、都市インフラの整備に関する協議や道路交通に関する検証等を将来像を見据えながら行いました。

### ■ 市道3号線道路災害防除事業の着手 3,000万円

近年の記録的な大雨や土砂災害を受けて実施した市内斜面地等の検証結果に基づき、崩落等のおそれのある斜面地に安全対策工事を進めました。



斜面地補強イメージ

## 豊かな学びを育むまち



### ■ ICTを活用した不登校児童生徒の学習支援 1,300万円

不登校または不登校傾向の児童生徒の学習機会保障のため、ICT学習ツールを活用したオンライン学習環境を整えました。また、別室登校支援員の配置日数等を拡大し、児童生徒の心のケアの充実を図りました。



別室教室  
イメージ

### ■ 食の創造館別館完成と中学校完全給食に向けた準備 15億4,000万円

中学校給食調理施設として食の創造館別館を建設しました。また、中学校完全給食に向け、食の創造館の予備能力を活用し、中学校給食を試行的に実施しました。

食の創造館別館  
完成写真



中学校給食一部実施の様子



## 安全で安心して暮らせるまち



### ■ 消防署南分署建替事業の推進 1億3,300万円

甚大化する災害等に対応するため、将来にわたり「安全・安心なまち」を維持できるよう、老朽化した消防署南分署の移転・建替工事及び監理委託を行いました。



消防署南分署イメージパース

### ■ 防火水槽の整備 350万円

災害に強いまちづくり推進のため、柏ヶ谷地区の住宅密集地域や社家地区の大規模火災の危険のある地域に消火栓を設置しました。

## かがやきを創造するまち



### ■ スマホ市役所の実装、スマート申請の拡充 3,000万円

海老名市LINE公式アカウントをリニューアルしました。一部の申請や専門相談の予約などが、LINE上で24時間365日できるスマホ市役所を実装しました。



スマホ市役所  
画面イメージ



### ■ 公共施設再編（適正化）計画の改定 280万円

パブリックコメントを取り入れ、市の将来推計と市民ニーズの整合性を図りながら、将来にわたる安全・安心な公共施設の維持管理のため、計画の改定を行いました。

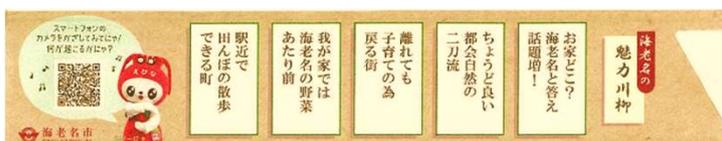
## 新たな発見ができるまち



### ■ 魅力あるシティプロモーションの展開 120万円

市民等から募集した海老名の魅力川柳をデザインした割り箸袋を作成し、大型商業施設や飲食店へ配布しました。また、海老名市の魅力を戦略的に市内外に発信するため、デジタルサイネージなどを活用し、認知度向上と郷土愛の醸成を図りました。

割り箸袋



デジタルサイネージ

## 基金及び市債残高の状況

- 基金残高は、88億48百万円（前年度比2億56百万円、3.0%の増）となりました。
- 市債残高は、適債事業に対して必要な借り入れを行っていることから、一般会計分が283億14百万円（前年度比2億82百万円、1.0%の増）となりましたが、償還が進んだ企業会計分は108億57百万円（前年度比7億5百万円、6.1%の減）となりました。結果として、市民一人当たりの市債残高は県内16市と比較して低い水準となる見込みです。

（単位：千円）

区分	令和5年度末	令和4年度末	増減額	増減率
基金残高	8,848,344	8,592,368	255,976	3.0%
市債残高	39,268,477	39,702,496	△434,019	△1.1%
一般会計分	28,313,592	28,031,338	282,254	1.0%
特別会計分	97,982	108,800	△10,818	△9.9%
企業会計分	10,856,903	11,562,358	△705,455	△6.1%

注：市債残高における特別会計分は、公共用地先行取得事業特別会計です。

## 財政力指数及び経常収支比率

- 令和5年度の財政力指数（単年度）は1.067（前年度比0.031ポイント増）となり、前年度に引き続き普通交付税不交付団体となりました。
- 経常収支比率は、納税者の増加により市税などの経常的な収入が増加した一方で、物価高騰の影響による賄材料費などの物件費の増加や子育て支援等に係る扶助費が引き続き伸びていることなどにより経常的な支出が増加したため、94.3%（前年度比0.5ポイント増）となりました。

区分	令和5年度	令和4年度	増減
財政力指数（3か年平均）	1.029	1.028	0.001
財政力指数（単年度）	1.067	1.036	0.031
経常収支比率（%）	94.3	93.8	0.5
実質収支比率（%）	7.5	7.8	△0.3

注：実質収支比率は、決算統計に基づき算定しています。

## 健全化判断比率及び資金不足比率

- 健全化判断比率及び資金不足比率については、いずれの比率も国が定めた基準を大きく下回っており、本市の財政の健全性は財政健全化法上も問題ないこととなりました。

### 【健全化判断比率】

区分	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－（赤字なし）	11.89%
連結実質赤字比率	－（赤字なし）	16.89%
実質公債費比率	5.2%	25.0%
将来負担比率	30.2%	350.0%

### 【資金不足比率】

区分	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	－（資金不足なし）	20.0%

## お問い合わせ先

海老名市 財務部 企画財政課 電話 046-235-8453（直通）  
FAX 046-233-9118 E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp